工事番号	r4-M11

（様式－１）

課長		係長		担当		設計者		検算者		係員					

令和　４年度　安曇野市水道事業　県道田多井中萱豊科線道路改良に伴う給水管布設替工事　実施設計書

県道田多井中萱豊科線　　安曇野市三郷温

設　計　大　要	施　工　方　法	請負
給水管布設替工 PEPφ30　L=60.0m PEPφ25　L=18.0m 給水戸数　１戸	施　工　期　間	日間
	起工予定年月日	令和　年　月　日
	竣工予定年月日	令和　５年　３月　17日
	契約保証方法	補正なし

・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。
・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、ｈ、Ｌ、％、日、時、工数、空ｍ３、掛ｍ２、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。

安曇野市
工　事　設　計　用　紙

総 括 情 報 表

単価適用地区	49 １０　中信（１）
実施設計単価表等の適用日	04.11.28

	当　世　代	前　世　代
前払率（%）	40	
消費税率（%）	10　%	
工種区分	01　開削工事／小口径推進工事	
施工地域等区分	02　一般交通影響あり②	
契約保証方法	03　補正なし	
豪雪割増	02　豪雪割増無し	
冬期補正（現管）	1004	

これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象となりませんのでご理解願います。
冬期補正（現管）欄の記載例 ： 124 は 冬期率12%、4級地　を示します。

(工事費内訳書)

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊＊本工事費＊＊＊					
配水管布設工					
給水管資材費					
ポリエチレン管　２層管(1種) φ25					
水道単価	18	m			
ポリエチレン管　２層管(1種) φ30					
水道単価	60.0	m			
ポリエチレン管　２層管(1種) φ20					
水道単価	2.0	m			
メータ用ソケット φ25 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手					
水道単価	1	ヶ			
エルボ90° φ20 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手					
水道単価	1	ヶ			
エルボ90° φ25 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手					
水道単価	1	ヶ			

(工事費内訳書)

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
径違ソケット φ30×20 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手					
水道単価	1	ヶ			
径違ソケット φ30×25 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手					
水道単価	1	ヶ			
ソケット φ30 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手					
水道単価	2	ヶ			
伸縮継手　φ 25㎜ ﾒｰﾀｰ用					
水道単価	1	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ継手 φ 25㎜×700㎜ 袋ﾅｯﾄ×平行おねじ					
水道単価	2	個			
停水用伸縮ﾎﾞｰﾙ止水栓　φ25 蝶ﾊﾝﾄﾞﾙﾋﾞｽ交換式					
	1	個			
HIVP φ13　直管　4.0m					
水道単価	1	本			
HIVP φ20　直管　4.0m					
水道単価	1	本			
HIVP φ25　直管　4.0m					
水道単価	1	本			

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
HIVPｿｹｯﾄ φ25					
水道単価	1	個			
HI 異径ｿｹｯﾄ φ 25㎜×φ 20mm					
水道単価	1	個			
HIVPｴﾙﾎﾞ φ13					
水道単価	1	個			
HIVP径違ﾁｰｽﾞ φ25×φ13					
水道単価	1	個			
樹脂製量水器筐　φ25 樹脂製耐寒蓋 安曇野市型					
水道単価	1	基			
埋設ｼｰﾄ（国県道:給配水管用） W=400㎜ 青地白文字 2倍折込					
水道単価	77	m			
埋設ｼｰﾄ（市道:給水管用） W= 75㎜ 青地白文字 2倍折込					
水道単価	2	m			
水道用識別ﾏｰｶｰ					
水道単価	4	個			
ｻﾄﾞﾙ付分水栓閉栓ｷｬｯﾌﾟ φ20					
水道単価	1	個			

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ付分水栓閉栓ｷｬｯﾌﾟ φ25					
水道単価	1	個			
給水管労務費					
ポリエチレン管据付工 φ３０㎜					
2-6-1	60	m			施工　第0-0001号表
ポリエチレン管据付工 φ２５㎜					
2-6-1	18	m			施工　第0-0002号表
ポリエチレン管据付工 φ２０㎜					
2-6-1	2.0	m			施工　第0-0003号表
ポリエチレン管継手工 φ３０㎜					
2-6-1	6	口			施工　第0-0004号表
ポリエチレン管継手工 φ２５㎜					
2-6-1	4	口			施工　第0-0005号表
ポリエチレン管継手工 φ２０㎜					
2-6-1	3	口			施工　第0-0006号表
小口径鋼管継手工（ねじ込み接合） φ２５㎜					
2-4-1	5	口			施工　第0-0007号表

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
小口径鋼管継手工（ねじ込み接合） φ２０㎜					
2-4-1	1	口			施工　第0-0008号表
止水栓取付け工《止水栓のみ取付け》 φ２５㎜ ＰＰ用					
1-4-4	1	箇所			施工　第0-0009号表
量水器(量水器・表函)取付工(ねじ込み接合) φ２５㎜ 特殊メータ　使用しない					
1-4-7	1	箇所			施工　第0-0010号表
ポリエチレン管切断工《据付管切断》 管径：φ２０㎜					
	1	口			施工　第0-0011号表
ポリエチレン管切断工《据付管切断》 管径：φ２５㎜					
	1	口			施工　第0-0012号表
硬質塩化ビニル管据付工 φ２５㎜					
2-5-1	1	m			施工　第0-0013号表
硬質塩化ビニル管据付工 φ２０㎜					
2-5-1	1	m			施工　第0-0014号表
硬質塩化ビニル管据付工 φ１３㎜					
2-5-1	1	m			施工　第0-0015号表
硬質塩化ビニル管ＴＳ継手工 φ２５㎜					
2-5-1	4	口			施工　第0-0016号表

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管ＴＳ継手工 φ２０㎜ 2-5-1	1	口			施工　第0-0017号表
硬質塩化ビニル管ＴＳ継手工 φ１３㎜ 2-5-1	3	口			施工　第0-0018号表
硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》 管径：φ２５㎜	2	口			施工　第0-0019号表
硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》 管径：φ２０㎜	1	口			施工　第0-0020号表
硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》 管径：φ１３㎜	1	口			施工　第0-0021号表
管明示シート工（手間のみ） 2-3-14	79	m			施工　第0-0022号表
通水試験工　《既設管連結・給水車不要》 φ１５０㎜以下 １日当り試験距離：１０００（m）		日			施工　第0-0023号表
給水管土工費					
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	18	m			施工　第0-0024号表

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
舗装版取壊し積込み工 山積 0.13m3［平積 0.10m3］ Ａｓ舗装版厚：４（cm）	7	m2			施工　第0-0025号表
管路掘削工 クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 1-1-1	41	ｍ３			施工　第0-0027号表
管路埋戻工 クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 洗砂 1-1-2	12	ｍ３			施工　第0-0028号表
管路埋戻工 クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ RC-40 1-1-2	25	ｍ３			施工　第0-0030号表
管路埋戻工 クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 発生土 1-1-2	2	ｍ３			施工　第0-0031号表
発生土処理工 BH 山積0.13m3（平積0.1m3）、２ｔDT 運搬距離：７．４㎞　ＤＩＤ地区なし 1-1-3	40	ｍ３			施工　第0-0032号表
アスファルト塊運搬 BH 山積0.13m3（平積0.1m3）、２ｔDT 運搬距離：８．６㎞　ＤＩＤ地区無し	1	ｍ３			施工　第0-0035号表
路盤工（管路土工）　１層仕上げ 1.8m未満，再生クラッシャーラン　RC-40 全仕上り厚：２０ｃｍ	5	ｍ２			施工　第0-0036号表
路盤工（管路土工）　１層仕上げ 1.8m未満，粒度調整砕石　M-25 全仕上り厚：１２ｃｍ	5	ｍ２			施工　第0-0038号表

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
表層工 再生　密粒度（１３Ｆ） 車道　１層当り仕上厚３ｃｍ	5	ｍ２			施工　第0-0039号表
＊処分費等＊					
処分費 AS塊	1	ｔ			施工　第0-0042号表
仮設給水管資材費					
（仮設）ポリエチレン管　２層管(1種) φ25 転用方式(1/3) 水道単価	80	m			
（仮設）径違ソケット φ30×25 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手　転用方式(1/3) 水道単価	1	ヶ			
（仮設）ソケット φ25 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手　転用方式(1/3) 水道単価	3	ヶ			
（仮設）ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ φ25 給水用青銅ﾊﾞﾙﾌﾞ 10Kねじ込 転用方式(1/3) 水道単価	2	ヶ			
（仮設）鋼管用おねじ付ソケット　φ25 水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手　転用方式(1/3) 水道単価	4	ヶ			

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
（仮設）90°ﾕﾆｵﾝﾍﾞﾝﾄﾞ φ 25㎜ 1/3単価 水道単価	1	個			
仮設給水管労務費					
ポリエチレン管据付工 φ２５㎜ 2-6-1	80	m			施工　第0-0002号表
ポリエチレン管継手工 φ３０㎜ 2-6-1	1	口			施工　第0-0004号表
ポリエチレン管継手工 φ２５㎜ 2-6-1	12	口			施工　第0-0005号表
小口径鋼管継手工（ねじ込み接合） φ２５㎜ 2-4-1	5	口			施工　第0-0007号表
＊上記の撤去費＊		%			
交通管理費					
交通誘導警備員Ｂ	5	人・日			施工　第0-0043号表

(工事費内訳書)

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率計算額(千円単位)					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
＊＊現場管理費(千円単位)					
＊＊工事原価＊＊					
＊＊一般管理費等＊＊					
＊＊工事価格計＊＊					
＊＊消費税等相当額計＊＊					

（工事費内訳書）

＊ 本工事費 ＊　　内訳表

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊工事費計＊＊					

施 工 内 訳 表

施工　第0-0001号表

ポリエチレン管据付工

φ３０㎜　　2-6-1　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0002号表

ポリエチレン管据付工

φ２５㎜　　2-6-1　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0003号表

ポリエチレン管据付工

φ２０㎜　　2-6-1　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0004号表

ポリエチレン管継手工

φ３０㎜　　2-6-1　　1　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0005号表

ポリエチレン管継手工

φ２５㎜　　2-6-1　　1　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0006号表

ポリエチレン管継手工

φ２０㎜　　2-6-1　　1　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0007号表

小口径鋼管継手工（ねじ込み接合）

φ２５㎜　　2-4-1　　2　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の3.0%
＊＊＊　合　計　＊＊＊	2	口			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

小口径鋼管継手工（ねじ込み接合）　　施工　第0-0008号表

φ２０㎜　　2-4-1　　2　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の3.0%
＊＊＊　合　計　＊＊＊	2	口			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0009号表

止水栓取付け工《止水栓のみ取付け》

φ２５㎜　　ＰＰ用　　1-4-4　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	箇所			

施 工 内 訳 表

量水器(量水器・表函)取付工(ねじ込み接合)　　施工　第0-0010号表

φ２５㎜　　特殊メータ　使用しない　　1-4-7　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	箇所			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0011号表

ポリエチレン管切断工《据付管切断》
管径：φ２０㎜

１　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

ポリエチレン管切断工《据付管切断》

施 工 内 訳 表

施工　第0-0012号表

管径：φ２５㎜

１　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0013号表

硬質塩化ビニル管据付工

φ２５㎜　　2-5-1　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0014号表

硬質塩化ビニル管据付工

φ２０㎜　　2-5-1　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0015号表

硬質塩化ビニル管据付工

φ１３㎜　　2-5-1　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

硬質塩化ビニル管ＴＳ継手工　　施工　第0-0016号表

φ２５㎜　　2-5-1　　2　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　合　計　＊＊＊	2	口			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0017号表

硬質塩化ビニル管ＴＳ継手工

φ２０㎜　　2-5-1　　2　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　合　計　＊＊＊	2	口			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

硬質塩化ビニル管ＴＳ継手工　　施工　第0-0018号表

φ１３㎜　　2-5-1　　2　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
＊＊＊　合　計　＊＊＊	2	口			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》
管径：φ２５㎜

施 工 内 訳 表

施工　第0-0019号表

１　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0020号表

硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》
管径：φ２０㎜

１　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0021号表

硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》
管径：φ１３㎜

１　口　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	口			

管明示シート工（手間のみ）

施 工 内 訳 表

施工　第0-0022号表

2-3-14　　100　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

通水試験工　《既設管連結・給水車不要》　　施工　第0-0023号表

φ１５０㎜以下　　１日当り試験距離：１０００（m）　　１　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
器具損料及び諸雑費		%			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0024号表

舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　　15㎝以下　　1　m　当り
機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ［バキューム式・湿式］ 切削深２０ｃｍ級　B径５６ｃｍ		供用日		コンクリートカッタ［バキューム式・湿式］		
特殊作業員		人		特殊作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
普通作業員		人		普通作業員		
ブレード（コンクリートカッタ） 径２２インチ（５６ｃｍ）		枚		ブレード（コンクリートカッタ） 径２２インチ（５６ｃｍ）		
ガソリン レギュラー　スタンド		L		ガソリン レギュラー　スタンド		

施 工 内 訳 表

施工　第0-0024号表

舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　　15cm以下　　1　m　当り
機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
舗装版種別：ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚：15cm以下		

施 工 内 訳 表

施工　第0-0025号表

舗装版取壊し積込み工
山積 0.13m3［平積 0.10m3］　　Ａｓ舗装版厚：４（cm）　　100　m2　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転　（機－１８） クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 排出ガス対策型２次基準		日			施工　第0-0026号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m2			

施 工 内 訳 表

小型バックホウ運転　（機－１８）　　施工　第0-0026号表

クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３　　排出ガス対策型２次基準　　１　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
小型バックホウ（クローラ型）［標準型］ 排ガス２次　山積０．１３ｍ３		供用日			
運転手（特殊）		人			
軽油 小型ロ－リ－　パトロール給油		L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0027号表

管路掘削工

クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３　　1-1-1　　100　ｍ３　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転　（機－１８） クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 排出ガス対策型２次基準		日			施工　第0-0026号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ３			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0028号表

管路埋戻工
クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３　　洗砂　　1-1-2　　100　　ｍ３　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転　（機－１８） クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 排出ガス対策型２次基準		日			施工　第0-0026号表
タンパ及びランマ運転　（機－３１） 質量６０～８０ｋｇ		日			施工　第0-0029号表
埋戻材料費	126.000	ｍ３			管路埋戻工(SS10103)にて使用
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ３			

施 工 内 訳 表

タンパ及びランマ運転　（機－３１）　　施工　第0-0029号表

質量６０～８０ｋｇ　　１　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
タンパ（ランマ）賃料 質量６０～８０ｋｇ		供用日			
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー　スタンド		L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0030号表

管路埋戻工
クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３　　RC-40　　1-1-2　　100　　ｍ３　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転　（機－１８） クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 排出ガス対策型２次基準		日			施工　第0-0026号表
タンパ及びランマ運転　（機－３１） 質量６０～８０ｋｇ		日			施工　第0-0029号表
再生クラッシャーラン　４０mm以下	126.000	ｍ３			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ３			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0031号表

管路埋戻工

クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３　　発生土　　1-1-2　　100　　ｍ３　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転　（機－１８） クローラ型・標準　山積０．１３ｍ３ 排出ガス対策型２次基準		日			施工　第0-0026号表
タンパ及びランマ運転　（機－３１） 質量６０～８０ｋｇ		日			施工　第0-0029号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ３			

施 工 内 訳 表

発生土処理工　　施工　第0-0032号表

BH 山積0.13m3（平積0.1m3）、2ｔDT　　運搬距離：７．４㎞　ＤＩＤ地区なし　　1-1-3　　1　　ｍ３　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
発生土運搬費 BH 山積0.13m3（平積0.1m3）、2ｔDT 運搬距離：７．４㎞　ＤＩＤ地区無し	1.000	ｍ３			施工　第0-0033号表
処分費	1.000	ｍ３			発生土処理工(SS10104)にて使用
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ３			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0033号表

発生土運搬費

BH 山積0.13m3（平積0.1m3）、2ｔDT　　運搬距離：７．４㎞　ＤＩＤ地区無し　　10　　ｍ３　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ダンプトラック運転 普通・ディーゼル　２ｔ積級 運搬路面状況　良好		日			施工　第0-0034号表
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	ｍ３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ３			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0034号表

ダンプトラック運転

普通・ディーゼル　２ｔ積級　　運搬路面状況　良好　　1-1-3　　1　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運転手（一般）		人			
軽油 小型ロ－リ－　パトロール給油		L			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ ２ｔ積級		供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック　２ｔ　良好		供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0035号表

アスファルト塊運搬

BH 山積0.13m3（平積0.1m3）、2ｔDT　　運搬距離：８．６㎞　ＤＩＤ地区無し　　10　　ｍ３　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ダンプトラック運転 普通・ディーゼル　２ｔ積級 運搬路面状況　良好		日			施工　第0-0034号表
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	ｍ３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ３			

施 工 内 訳 表

路盤工（管路土工）　１層仕上げ　　施工　第0-0036号表

1.8m未満，再生クラッシャーラン　RC-40　　全仕上り厚：２０ｃｍ　　100　ｍ２　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
再生クラッシャーラン　４０mm以下	25.400	ｍ３			
タンパ及びランマ運転　（機－３１） 質量６０～８０ｋｇ		日			施工　第0-0037号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ２			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ２			

施 工 内 訳 表

タンパ及びランマ運転　（機－３１）　　施工　第0-0037号表

質量６０～８０ｋｇ　　１　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
タンパ（ランマ）賃料 質量６０～８０ｋｇ		供用日			
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー　スタンド		L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			

施 工 内 訳 表

路盤工（管路土工）　１層仕上げ　　施工　第0-0038号表

1.8m未満，粒度調整砕石　M-25　　全仕上り厚：１２ｃｍ　　100　ｍ２　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石　２５mm以下	15.240	ｍ３			
タンパ及びランマ運転　（機－３１） 質量６０～８０ｋｇ		日			施工　第0-0037号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ２			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ２			

施 工 内 訳 表

表層工　　施工　第0-0039号表

再生　密粒度（１３Ｆ）　　車道　１層当り仕上厚３ｃｍ　　100　ｍ２　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
⑤再生アスファルト混合物 密粒度（１３Ｆ）［再生材 混入率50%以下]	7.544	ｔ			
アスファルト乳剤 ＰＫ－３　プライムコート用		Ｌ			
振動ローラ運転　（機－２３） 舗装用・ハンドガイド　０．５～０．６ｔ 普通型		日			施工　第0-0040号表
振動コンパクタ運転　（機－２３） 前進型　機械質量４０～６０ｋｇ		日			施工　第0-0041号表
諸雑費		%			（労＋機）×率
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ２			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ２			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0040号表

振動ローラ運転　（機－２３）
舗装用・ハンドガイド　０．５～０．６ｔ　普通型　　１　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
振動ローラ（舗装用）［ハンドガイド式］ 運転質量０．５～０．６ｔ		供用日			
特殊作業員		人			
軽油 小型ロ－リ－　パトロール給油		L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			

施 工 内 訳 表

施工　第0-0041号表

振動コンパクタ運転　（機－２３）
前進型　機械質量４０～６０ｋｇ　　1　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
振動コンパクタ［前進型］ 機械質量４０～６０ｋｇ		供用日			
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー　スタンド		L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			

処分費

施 工 内 訳 表

施工　第0-0042号表

AS塊

100　t　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
処分費	100.000	t			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	t			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	t			

交通誘導警備員Ｂ

施 工 内 訳 表

施工　第0-0043号表

1　人・日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員Ｂ		人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	人・日			

第　　1 号数量表

給水管資材費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
ポリエチレン管　2層管(1種) φ25		13.0+5.0	m	18.0	KS003KGK
ポリエチレン管　2層管(1種) φ30		60	m	60.0	KS004KGK
ポリエチレン管　2層管(1種) φ20		2	m	2.0	KS002KGK
メータ用ソケット φ25	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	1	ヶ	1	KS063KGK
エルボ90° φ20	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	1	ヶ	1	KS132KGK
エルボ90° φ25	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	1	ヶ	1	KS133KGK
径違ソケット φ30×20	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	1	ヶ	1	KS104KGK
径違ソケット φ30×25	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	1	ヶ	1	KS105KGK
ソケット φ30	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	1+1	ヶ	2	KS074KGK
伸縮継手	ﾒｰﾀｰ用 φ 25mm	1	個	1	TK1860AZM
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ継手	袋ﾅｯﾄ×平行おねじ φ 25mm×700mm	2	個	2	TK5870AZM

第　　2 号数量表

給水管資材費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
停水用伸縮ﾎﾞｰﾙ止水栓	蝶ﾊﾝﾄﾞﾙ ﾋﾞｽ交換式 φ 25mm	1	個	1	TTSBS25
HIVP φ13　直管　4.0m		1.0/4.0	本	1	KS331KGK
HIVP φ20　直管　4.0m		1.0/4.0	本	1	KS333KGK
HIVP φ25　直管　4.0m		1.0/4.0	本	1	KS334KGK
HIVPｿｹｯﾄ φ25		1	個	1	KS694KGK
HI 異径ｿｹｯﾄ	 φ 25mm×φ 20mm	1	個	1	TK2020AZM
HIVPｴﾙﾎﾞ φ13		1	個	1	KS711KGK
HIVP径違ﾁｰｽﾞ φ25×φ13		1	個	1	KS734KGK
樹脂製量水器筐	 (大)φ25mm用	1	基	1	TK6470AZM
埋設シート(国県道:給配水管用)	青地白文字 2倍折込 W=400mm	60+13+4	m	77.0	TK6640AZM
埋設シート(市道:給水管用)	青地白文字 2倍折込 W= 75mm	2	m	2	TK6620AZM

第　3 号数量表

給水管資材費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
水道用識別ﾏｰｶｰ		4	個	4	TK6660AZM
ｻﾄﾞﾙ付分水栓閉栓ｷｬｯﾌﾟ φ20		1	個	1	KS290KGK
ｻﾄﾞﾙ付分水栓閉栓ｷｬｯﾌﾟ φ25		1	個	1	KS291KGK

第　4 号数量表

給水管労務費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
ポリエチレン管据付・撤去工	据付	60	m	60.0	SS20601
	φ30				
ポリエチレン管据付・撤去工	据付	18	m	18.0	SS20601
	φ25				
ポリエチレン管据付・撤去工	据付	2	m	2.0	SS20601
	φ20				
ポリエチレン管継手工		ｿｹ2*2+異ｿｹ1*2=6	口	6	SS20602
	φ30				
ポリエチレン管継手工		Mｿｹ1*1+ｴﾙﾎﾞ2*1+異ｿｹ1*1=4	口	4	SS20602
	φ25				
ポリエチレン管継手工		ｴﾙﾎﾞ2*1+異ｿｹ1*1=3	口	3	SS20602
	φ20				
小口径鋼管継手工（ねじ込み接合）		Mｿｹ1*1+ﾌﾚｷ1*2+伸1*1+ｻﾄﾞﾙｷｬｯﾌﾟ1*1=5	口	5	SS20405
	φ25				
小口径鋼管継手工（ねじ込み接合）		ｻﾄﾞﾙｷｬｯﾌﾟ1	口	1	SS20405
	φ20				
止水栓取付け工	止水栓のみ	1	箇所	1	SS10402
	φ25				
量水器取付工（ねじ込み接合）	筐含む	1	箇所	1	SS10405
	φ25				
ポリエチレン管切断工		1	口	1	SS20604
	φ20				

第　5 号数量表

給水管労務費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
ポリエチレン管切断工	φ25	1	口	1	SS20604
硬質塩化ビニル管据付・撤去工	φ25	1.0	m	1.0	SS20501
硬質塩化ビニル管据付・撤去工	φ20	1.0	m	1.0	SS20501
硬質塩化ビニル管据付・撤去工	φ13	1.0	m	1.0	SS20501
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ25	ｿｹ1*1+異ｿｹ1*1+異ﾁｰｽﾞ2*1=4	口	4	SS20502
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ20	異ｿｹ1*1=1	口	1	SS20502
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ13	ｴﾙﾎﾞ2*1+異ﾁｰｽﾞ1*1=3	口	3	SS20502
硬質塩化ビニル管切断工	φ25	2	口	2	SS20505
硬質塩化ビニル管切断工	φ20	1	口	1	SS20505
硬質塩化ビニル管切断工	φ13	1	口	1	SS20505
管明示シート工（手間のみ）		77+2	m	79	SS20315

第　6 号数量表

給水管労務費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
通水試験工		78/1000=0.078	日	0.1	SS50101

第　7号数量表

給水管土工費
（仮設・閉栓含む）

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
舗装版切断	As舗装版	2.0+6.0+10=18.0	m	18	SZD321
	t＝15cm以下				
舗装版取壊し積込み工	BH山積み0.13㎥	0.6+1.2+2.0+1.5*2=6.8	m2	7	SS10107
	舗装版厚4cm				
管路掘削工	クローラー型	28.4+8.0+0.7+1.3+2.2+0.4*2=41.4	m3	41	SS10101
	山積み0.13㎥				
管路埋戻工	クローラー型・標準・山積み0.13㎥	8.6+2.3+0.1+0.3+0.2+0.3=11.8	m3	12	SS10103
	洗滌砂				
管路埋戻工	クローラー型・標準・山積み0.13㎥	19.8+5.6=25.4	m3	25	SS10103
	RC-40				
管路埋戻工	クローラー型・標準・山積み0.13㎥	0.3+0.7+1.1=2.1	m3	2	SS10103
	発生土				
発生土処理工		28.4+8.0+0.4+0.6+2.0+0.4=39.8	m3	40	SS10104
	運搬距離7.4km				
As塊・Co塊運搬費	As殻	0.02+0.04+0.1+0.1*2=0.36	m3	1	SS10115
	運搬距離8.6km				
路盤工（管路土工）	下層　RC-40　1層	0.6+1.2+2.0+1.5=5.3	m2	5	SS10108
	t=20cm				
路盤工（管路土工）	上層　M-25　1層	0.6+1.2+2.0+1.5=5.3	m2	5	SS10108
	t=12cm				
アスファルト舗装工（人力）	再密13F	0.6+1.2+2.0+1.5=5.3	m2	5	SS10117
	t=3cm				

第　8号数量表

給水管土工費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
処分費(t)	As殻	0.1+0.1+0.2+0.2*2=0.8	t	1	SA092

第　　9 号数量表

仮設給水管資材費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
(仮設)ポリエチレン管 2層管(1種) φ25		80.0	m	80	KT303KGK
(仮設)径違ソケット φ30×25	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	1	ヶ	1	KT405KGK
(仮設)ソケット φ25	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	3	ヶ	3	KT373KGK
(仮設)ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ φ25	給水用青銅バルブ 10Kねじ込み	2	ヶ	2	KT343KGK
(仮設)鋼管用おねじ付ソケット φ25	水道ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管金属継手	4	ヶ	4	KT353KGK
90° ﾕﾆｵﾝﾍﾞﾝﾄﾞ	φ 25mm	1	個	1	TK2930AZM

第　　10 号数量表

仮設給水管労務費

数　量　計　算　書

当 初
変 更

名　　称	形状寸法	計　算　式	単位	数　量	コード
ポリエチレン管据付・撤去工	据付 φ 25mm	80	m	80	SS20601
ポリエチレン管継手工	φ 30mm	異ｿｹ1	口	1	SS20602
ポリエチレン管継手工	φ25	異ｿｹ1+ｿｹ2*3+おｿｹ1*4+ﾕﾆ1=12	口	12	SS20602
小口径鋼管継手工(ねじ込み接合)	φ25mm	おｿｹ1*4+ﾕﾆ1	口	5	SS20405
		上記の撤去費	%	40	

安曇野市 上水道工事 特記仕様書

（平成29年4月改正）
（平成30年9月追記）

安曇野市　上下水道部　上水道課

第1章

（総　則）

1　本特記仕様書は、安曇野市が発注する上水道工事（以下「工事」という。）の施工に際し、請負者が履行しなければならない仕様を示すものである。

2　請負者は、建設工事請負契約書に基づき工事を施工すると共に、併せて本特記仕様書のほか次の書類を参考にし、工事監督員の監督・指示を受けて工事を施工すること。

「長野県土木工事共通仕様書」（長野県土木部）
「長野県土木工事特記仕様書」（長野県土木部）
「長野県現場管理の手引き」（長野県土木部）
「長野県施工管理基準」（長野県土木部）
「安曇野市水道事業給水条例」（安曇野市）
「安曇野市建設工事施工規則」（安曇野市）
「安曇野市上水道工事事務手順・標準仕様書」（安曇野市　上下水道部）
「安曇野市給・配水管工事施工基準　R3年度」（安曇野市　上下水道部）
「水道工事標準仕様書【土木工事編】2010」（日本水道協会）
「水道工事標準仕様書【設備工事編】2010」（日本水道協会）

（資格要件）

1　工事の種類　　主任技術者の要件

水道施設工事	①技術検定合格者 ・土木施工管理技士（2級は土木） ②技術士2次試験合格者 ・水道部門 ・衛生工学部門 （「水質管理」又は「廃棄物処理」） ③・管工事施工管理技士（2級以上）

2　主任技術者または現場代理人は配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管工事の場合は配水用ポリエチレンシステム協会（POLITEC）の配水管受講証、ダクタイル鋳鉄管工事の場合は（社）日本水道協会講習会（一般・耐震）の配管技能者登録証の保有者とすること。

3　現場代理人または自社作業員は給水装置工事主任技術者免状の保有者とすること。

（工程等）

1　工期は、雨天・休日等（休日等には日曜日・祝日、夏季休暇及び年末年始休暇のほか、作業期間内の全土曜日を含んでいる。）を見込んでいる。

2　工程は沿線住民の交通を確保したものとし、詳細でわかりやすい工程表を作成すること。

3　請負契約締結後、監督員と協議して速やかに現地調査及び関係機関との打合せ（道路管理者、下水道管理者、市役所生活環境担当（ゴミステーション）、NTT、中部電力、警察署（信号機等）等）を行い、必要があるときは関係機関と現地立会いを実施して対策を考慮した工程計画をたてること。

4　具体的な工程、交通規制、環境対策等は前もって関係住民に周知すること。

（施工計画）

1　工事箇所が小中学校の通学路に指定されている場合には施工計画に基づき早急に市役所学校教育課を通じて各学校と協議をし、通学路を変更する必要がある場合には適切かつ安全な対策を講じること。また保育園のバス路線に指定されている場合は保育園と、福祉バス路線に指定されている場合は各支所地域支援課と同様の協議をすること。

2　本管並びに仮設管切り替え時及び地下水処理のためのポンプ排水を行う場合は放流水路の下流域を十分調査して放流すること。また、工事終了後は放流水路の清掃点検を行うこと。

　なお、地下水処理のために長期間に渡る放流を行う場合は土地改良区、水利組合と立会いまたは協議を行い書面にて保管するとともに監督員から確認要求があった場合は提出すること。

3　掘削構内に埋設物があるときは、本工事着手前に現地立会いを行い必要に応じ試験掘削を実施し位置を確認したうえで監督員に報告すること。

4　工事の施工においては既存構造物を破損させないように十分注意すること。
全ての既存構造物は撤去及び原形復旧を原則とする。

5　工事で影響を与える可能性がある構造物等（家屋、塀、庭木等）がある場合は着手前に所有者又は管理者立会いのうえで調査し写真に記録し、一連の記録、写真及び対策は施工計画書に明示し報告すること。
　また、施工中に垣根、庭木等を建設機械で抜根、枝折り、排気ガスで枯らさないよう注意すること。

6　施工計画書提出後に現場着手すること。また、設計変更若しくは増、減工があった場合は内容を精査し速やかに変更施工計画書を提出すること

7　施行箇所に基準点等が設置されている場合は、監督員と相談の上、測量会社に依頼し復元を図ること。

（その他）

1　請負金額が500万円以上の工事については工事カルテを作成し、一般財団法人日本建設情報総合センターのコリンズに登録すること。なお、登録前に監督員から内容確認を受けた後に本登録を行い、登録完了書を提出すること。なお、途中変更時及びしゅん工時にも登録前に監督員が内容確認の提出をし、確認後に本登録を行い、登録完了書を提出すること。この場合の登録期限は当初契約日、変更契約日、工事完成時それぞれ 10 日以内とする。

2　道路掘削許可申請及び道路通行制限に係る手続きは工事請負者が行うこと。

3　本工事及び本特記仕様書に質疑が生じた場合は書面をもって協議すること。（別紙 2）

4　別途指定する建設機械については、排出ガス対策型の使用を原則とする。（別紙 3）

5　建設業法第26条の規定により、請負者が工事現場ごとに設置しなければならない主任技術者または監理技術者については適切な資格、技術力を有するもの（工事現場に常駐して、専らその職務に従事する者で、請負者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。
　なお、請負金額が 3,500 万円以上の時は主任技術者及び監理技術者は専任とすること。

6　下請負契約があるときは、金額の大小に関わらず「下請負人の通知書(別紙 12)」を事前に提出すること。（廃棄物の収集・運搬・処分、舗装切断、交通整理員等、全ての業務について他社に依頼する場合は提出が必要となる）

7　長野県および安曇野市が発注する「公共建設工事の分別解体等・再資源化等および再生資源活用の対象となる建設工事」は実施要領に基づき手続きをおこなう。（請負額 500 万円以上）
【土木工事現場必携　長野県版の建設副産物対策を参照】

第 2 章　施工

（起工測量）

1　本工事着手前に起工測量を実施しその成果を必ず提出すること。

2　量水器ボックスの交換を計画している場合は上水道使用者または権利を有する者と立会いの上、位置を決定し量水器設置確認書（別紙 4）に記載をしてもらうこと。

（資　材）

1　管材料はφ250 ㎜以上の導・送・配水管については DIP（GX-S 形及び NS 形）の耐震管とする。
φ100～200 ㎜までの配水本管は DIP（GX-S）とし、φ75～100 ㎜までの配水枝管・HPPE・WEET、
φ13～50 については PEP（二層管）・HPPE を基本とする。

2　資材の運搬、保管は慎重に行い管の損傷を防ぐこと。保管は極力屋内とし現場状況によりやむをえず屋外に保管する場合は簡易屋根を設けるか不透明シート等で覆い、資材の変形及びサビ等による劣化防止に努めること。

3　本工事における全ての資材は使用承認願（別紙 5-1）を提出し使用承認と監督員による資材検査を受け、しゅん工時には資材の受払いを明示すること。なお、使用承認願、資材検査願(別紙 5-2)ともに使用材料一覧表(別紙 5-3)を添付すること。

ただし、日本工業規格(JIS)、日本水道協会(JWWA)等が認定する2次製品で、市が承認した資材（一括承認）については、使用材料一覧表の提出で良いものとし、資材検査を省略する。ただし監督員が指示し場合、承認材料以外の部材をしようする場合は、協議書による承認願いを提出すること。

（一括承認した材料の一覧表は別紙 5-4）

（土　工）

1　掘削にあたっては設計幅以下とならないように施工すること。特別な事情がない限り土質による設計変更はおこなわない。あわせて舗装の復旧路面・及び処分等の変更についても、相当の理由がない限り変更の対象としない。変更をおこなう場合にあっても協議書によって、監督員と協議を行うものとする。

2　本工事により発生する残土については、施工計画書に搬出計画（搬出量、搬出先、搬出経路、処理業者）を明記すると共に現場発生土仮置き場の安全対策を講ずること。

また工事完了の際は処分量を明確にすること。

3　本工事により発生するアスファルト廃材の搬出先については施工計画書に明記し、しゅん工時には適正に処理されたことがわかるよう処理伝票、状況写真を整理し提出すること。

4　洗砂による埋め戻しは、埋め戻し厚の中央に管が布設されるように注意すること。埋設管に損傷を与えないよう埋設管の両側を同時に埋め戻し規定の厚みに達するまで洗砂を敷き均すこと。

検査記録は土工各工程の幅・厚さを記録し写真で確認できるようにすること。

また、上水道管の下に下水道管等が埋設されている場合は下水道管理者、施工業者と協議し慎重施工すること。

5　発生土が軟弱土質等で埋め戻し材として不適当と判断した場合並びに掘削構内に埋設物がある場合は監督員に報告して指示を受けること。

6　管の埋設深の標準断面は管上 100 ㎝とし、GL－60cm の位置にセイフティーシート及び水道用識別マーカ

一を垂直に設置すること。

ただし、発注毎に埋設条件が異なる場合があるので、各現場毎に埋設深等、確認し施工すること。

管材料に関係なくアルタンシートを使用してはならない。

また水道用識別マーカーの設置箇所は基点、終点、分岐点、サドル設置箇所、曲管設置箇所、下水道マンホール周り（前、中、後の3箇所）、直線部分は 20m 毎を標準とし管材料に関係なく、全ての給・配水管に設置すること。

7 管明示テープは管材料ごとに指定されたものを使用し、管上部に縦断方向並びに次の割合で1回転半の胴巻きをおこなうこと。

管明示テープ胴巻き箇所

DIP 管・VP 管	管長4．0m以下	3か所/本
	管長5．0m以上	4か所/本
HPPE 管	管長5．0m	4か所/本

8 発生土の埋め戻しは一層の厚さ 30 ㎝毎に締め固め転圧を必ず実施すること。

発生土の締め固め密度を十分確保し、すること。路盤材についても同様であり、発生埋戻し土に十分な密度が確認できない場合は、監督員と協議すること。

9 土質により開削が困難な場合及び既設管の埋設深があり土留め等の設置が必要な場合は監督員と協議し適切な対策をとること。

10 事後報告は変更の対象にはならないので施工前に書面による変更協議を取り交わすこと。ただし緊急の場合は監督員に連絡し指示を受けること。

11 起終点の既存管接続部分は試掘をおこない、形状確認後に部材注文をおこなうこと。

（本管布設）

1 本管布設にあたっては「安曇野市上水道工事」及び「安曇野市給・配水管工事施工基準 R3 年度」により施工・管理すること。

2 しゅん工時に配管状況を目視できないため他の埋設物との離隔状況、管の布設前・中・後の施工状況を写真で記録すること。

3 バックホウによる吊り込作業は専用装置以外の装置を使用してはならない。

4 下水道関連工事における配管作業は下水道工事と同時施工を原則とするが現場の状況により同時施工が困難な場合は監督員と協議すること。

5 配水管の接合 DIP については日本ダクタイル鉄管協会接合要領書、HPPE については日本水道協会規格により施工すること。

接合状況の管理は各チェックシートによる記録を原則とする。写真管理についてはトルクレンチによる締め付け状況、管挿入部分の検測状況、若しくは融着状況を写真で記録すること。

6 直管の布設にあたって、直管の番号を明記し、しゅん工図の配管詳細図にも番号を明記すること。

7 仕切弁は設置後の維持管理作業の安全性を考慮し交差点外に設置すること。

8 水圧試験を受けるときは申請書（別紙 6）を提出すること。

現場試験は 1.0Mpa を 10 分間静止し水圧の落下のないことを確認し合格とする。

ただし常圧が高い地域については常圧の 2 倍の水圧を 10 分間保持し合格とする。

（給水管・量水器の施工）

1　量水器ボックス等の交換・設置する場合は「安曇野市水道事業給水条例施工規定」に基づき、位置の変更の有無に係らず

⑴ 原則として建築物の外であって当該建築物の敷地内で官民境 1.0m以内とする。

⑵ 点検及び取替作業を容易に行うことができる場所

⑶ 衛生的で損傷のおそれがない場所

を考慮し上水道使用者または権利を有する者と立会いのうえで設置箇所を選定し、量水器設置位置確認書（別紙 4）に記載してもらってから着手すること。（無断着手は厳禁）

2　本管から量水器までの取り出し距離が長くなる場合は一次止水を設置するが維持管理作業の安全性を考慮し交差点外に止水栓を設置すること。

3　量水器を設置する場合は宅地内を掘削するので既存の構造物、庭木等を損傷しないよう十分に注意すること。また工事で宅地内に立ち入る場合は施工日の 5 日前までに工事の予定を施主に連絡し了解を得てから着手すること。（なお、構造物・庭木等に影響が出るおそれがある場合については、事前に監督員と協議を行うとともに、土地所有者との協議を十分に行うこと）

（舗装復旧工）

1　上水道工事におけるアスファルト舗装復旧は仮復旧を原則とし、1路線ごとに随時復旧すること。
　なお、施工延長の変更もしくは変更協議があった場合を除いて舗装面積を変更の対象としない。

2　下層路盤工及び上層路盤工の出来形管理は設計掘削幅に対し管理すること。

3　使用するアスファルト合材及び路盤・埋め戻しのクラッシャーラン 40−0 は監督員から指示がある場合を除き再生材を使用すること。

4　アスファルト舗装については品質管理基準に基づき管理を行うこと。特に現場検査（締め固め前の温度測定、密度測定）を徹底すること。

5　県道部からの分岐取出しは仮復旧までおこない開放すること。

（書類・検査）

1　工事完成時の提出書類は「安曇野市給・配水管工事」、「安曇野市給・配水管工事施工基準　R3 年度」に基づき作成すること。

2　工程管理の徹底を図り全体の数量の見通しがたった段階若しくは出来高が 80%に達した時点で速やかに 80%予想出来形展開図及び数量計算書を提出すること。
　80%出来高の提出期限：令和5年3月3日（金）までとする。以降の受付と清算は認めない。
　上記より現場工事作業の完了も同日として、計画工程を作成すること。
　※（現場清掃、墨入れ等の完了後の現場所事務の作業は除く）※

3　しゅん工書類編冊順は「工事における提出書類一覧表」（しゅん工書類）（別紙 1−1）とすること。また工事請負契約からしゅん工届けまでの各段階での提出書類についても注意すること。

4　工事施工後の事後報告は原則として認めず変更の対象にはならないので必ず施工前に協議書を取り交わすこと。
　ただし、緊急の場合はこの限りではないのでその都度監督員と相談すること。

5　なお、施工写真の編冊順は工種毎、側点順に整理すること。（別紙 1−2 のしゅん工写真の編冊順を参考と

すること。）

6 しゅん工検査は現地で実測するため固定点からの距離を施工中に控えておき、正確な位置にすみ入れをおこなうこと。

7 工事で使用した全ての資材は伝票と突合させ資材毎、日付順に集計し最終数値を設計数値と比較し増減を明示すること。骨材、残土処理、廃材処分についても同様に集計、比較すること。

8 しゅん工書類の他に平面図、管割図、給水図を提出すること。しゅん工書類の図面は紙ベース1部とDXF・SFCまたはJww形式図面データを提出すること。

平面・管割図の用紙は特に定めないものとする。また、給水管についても配水管平面図に記載の上、別途詳細図も作成すること。

9 配管詳細図に水道用識別マーカーの設置位置を記載すること。

（その他）

1 仮設費については任意仮設を原則とするが一部に指定仮設を計上している。したがって設計図書に明示している数量及び施工明細は全て参考資料として取り扱うこと。

ただし、現場状況により仮設管口径を変更する場合は変更設計の対象とする。

~~指定仮設は不断水分岐用割T字管一箇所（本管接続）とする。指定仮設の施工にあたっては、有資格の作業主任者を配置すること。（※各メーカーの受講資格証・認定証を添付すること※）~~

2 断水は原則として実施日の1週間前までに断水通知を関係者に配布できるように計画すること。

また日程が決まり次第監督員に連絡し沿線住民への周知及び断水する地域を所管する消防署への届出（別紙18）を図ること。

なお、市発注工事における断水通知は全て市名（上水道課）および業者名による断水通知とする。

3 冬季間の工事における凍結対策として給水リターン方式（指定仮設）を施工し、管理をおこなうこと。また、凍結が発生する可能性がある場合は、給水使用者（所有者）へ周知をおこない、凍結した場合は即時に対応すること。 なお、かけ流しを実施する場合は、監督職員への協議をおこなうこと。また、開始時点と終了時点の日付及び量水器の指針を記録し、それぞれ切替名簿を監督員に提出すること。

4 本工事の近接地で別事業の工事を実施している場合、通行の制限、仮設配管の計画等を工事受注者と協議をおこない、安全協議会の設置等に配慮し施工すること。

5 本工事は安曇野建設事務所発注の道路改良工事に伴う工事であるため、道路改良工事施工者と工程管理、安全管理等について十分協議した上で工事着手し施工すること。

第3章　安全対策、交通管理、現場管理、仮設給水

（安全対策・交通管理）

1　通行制限願い等関係機関に提出する書類及び住民に配布する通知文等は予め監督員の確認を得た後提出すること。

2　現場周辺で他工事が発注されている場合は施工業者と協議して円滑な施工と沿線住民の交通管理について検討すること。

3　全面通行止の場合は遅くとも 10 日前、片側交互通行の場合は 7 日前に案内看板等を設置し周知をはかること。また、通行止の際は歩行者用通路を設け歩行者の安全を確保すること。

4　現場周辺道路上に資材や通勤車両を置いてはならない。また、工事区域内は整理整頓をすること。

5　資材置き場及び残土置き場は第三者による事故等を未然に防ぐため安全対策を講ずること。

6　台風等強風や大雨の発生が予想される場合は、事前に看板等の飛散防止、掘削箇所の崩落防止等、事前に安全確認のためのパトロールを実施すること。

7　**現場管理費には工事期間中月 1 回半日以上の安全教育・研修訓練等の費用が含まれているので必ず実施すること。**また、実施計画を施工計画書に記載し、実施状況がわかる資料をしゅん工時に提出すること。

8　本工事期間内に自然災害（地震等）が発生した場合は、現場代理人はただちに作業の中止と、作業員の安全確保に最大限努力すること。また、近隣住民への通行確保のため工事現場を安全に開放すること。

9　現場の近隣に保育園・学校施設がある場合、着手前に工事予告等の通知を配布すること。

（仮設給水）　第 2 章　その他項目と同様

1　冬期間の仮設給水において凍結防止の対策を講じるとともに、工事期間中に凍結が発生した場合は、各戸への通水できるよう、対応をおこなう。

2　冬期間の仮設給水を防止のためリターン式を採用（指定仮設）とするが、かけ流し措置を講じる場合は、仮設切替前のﾒｰﾀｰ指針、ﾒｰﾀｰ番号等を仮設切替者名簿（別添）に記載し、監督員に提出すること。ただし、かけ流し措置は1月以降の切替にかかるものとする。

第４章　設計条件

１	前払い率	40％以内
２	工　　種	開削工事
３	施工地域区分	一般交通影響あり②
４	契約保証方法	金銭的保証
５	積雪寒冷地	４級地
６	工　　期	契約日　から　令和５年３月 17 日 この工事は、施工者希望型週休２日工事の対象外です。
７	工事概要	給水管布設替工事
８	残土処理	搬出先：安曇野市穂高牧 766-1　　共和興業㈱本社 運搬距離 7.4 ㎞　を想定し積算しているが、これにより難い場合が生じたときは、監督員と協議すること
９	廃材処理	処分場：松本市島内 908-2　清水口建設㈱ 運搬距離 8.6 ㎞を想定し積算している
１０	仮設配管	あり
１１	地下埋設物	下水道管ほか
１２	その他	片側交互通行にて施工（交通誘導員Ｂ種　期間中　５名計上）
１３	積算設定	土工事は一部にパッケージ積算を採用している

資材単価等について

令和４年度 安曇野市水道事業 県道田多井中萱豊科線道路改良に伴う給水管布設替工事に係る工事費の積算にあたって

「安曇野市 令和４年度資材等単価表」　及び積算資料　（一般財団法人経済調査会)、建設物価（一般財団法人建設物価調査会）を基に設計価格を算出しています。

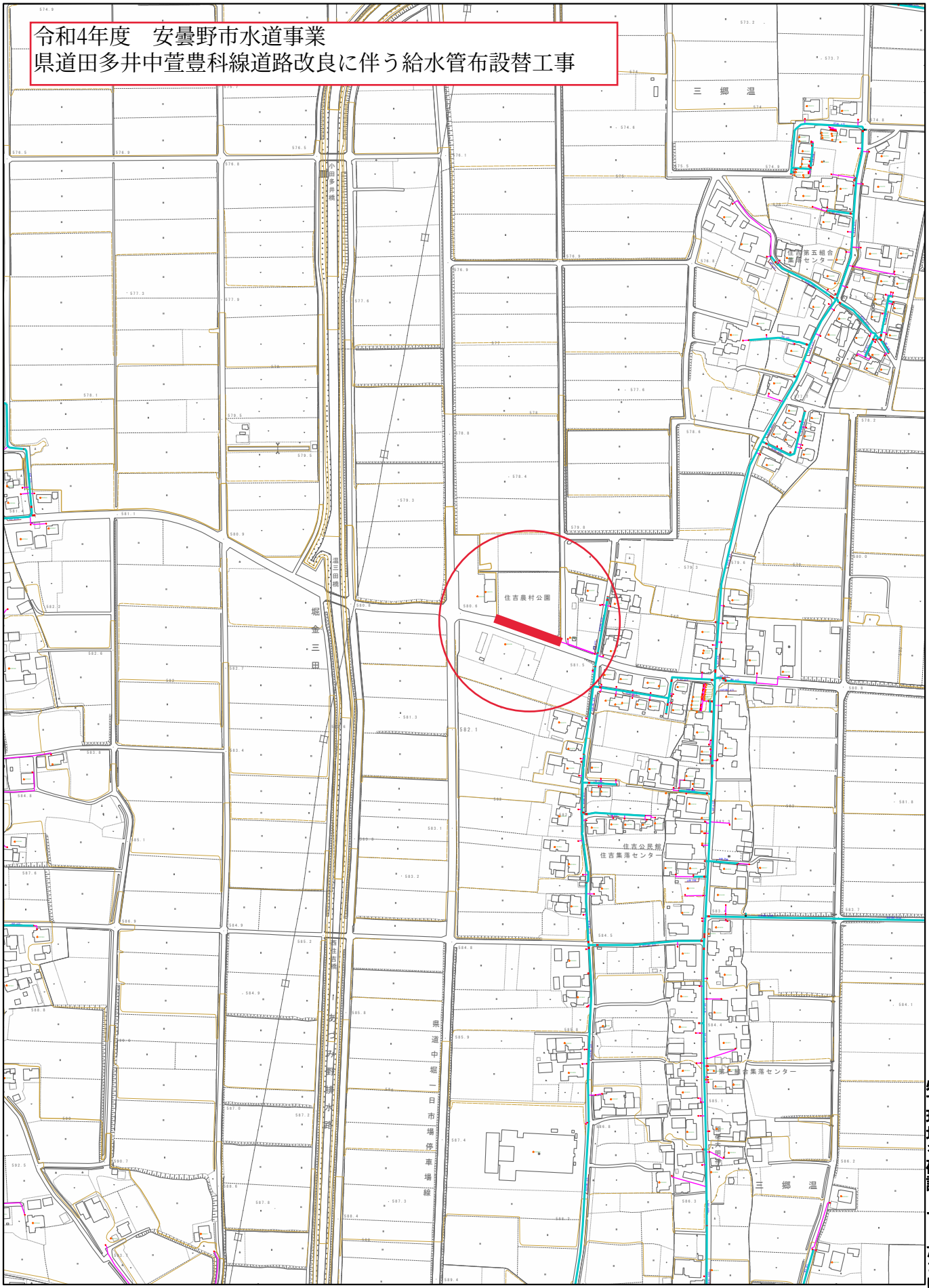
なお、使用した単価は設計価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

製品名	規　格	単　価	単位	備考
停水用伸縮ﾎﾞｰﾙ止水栓 φ25	蝶ﾊﾝﾄﾞﾙﾋﾞｽ交換式	21,600	個	

位置図

令和4年度　安曇野市水道事業
県道田多井中萱豊科線道路改良に伴う給水管布設替工事



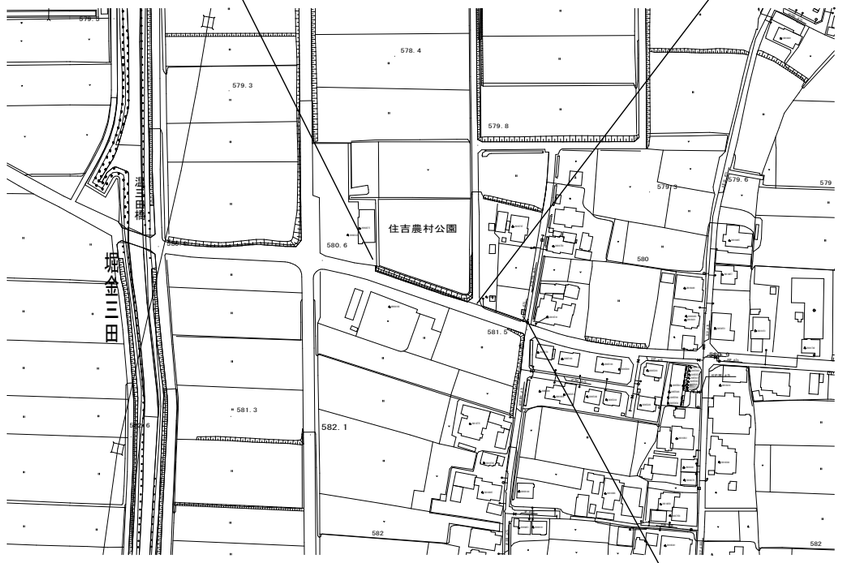
1/5,000

0m　100m　200m　300m　400m

この画面は参考図面です。
必ず現地を確認してください。

令和４年度　安曇野市水道事業　県道田多井中萱豊科線道路改良に伴う給水管布設替工事

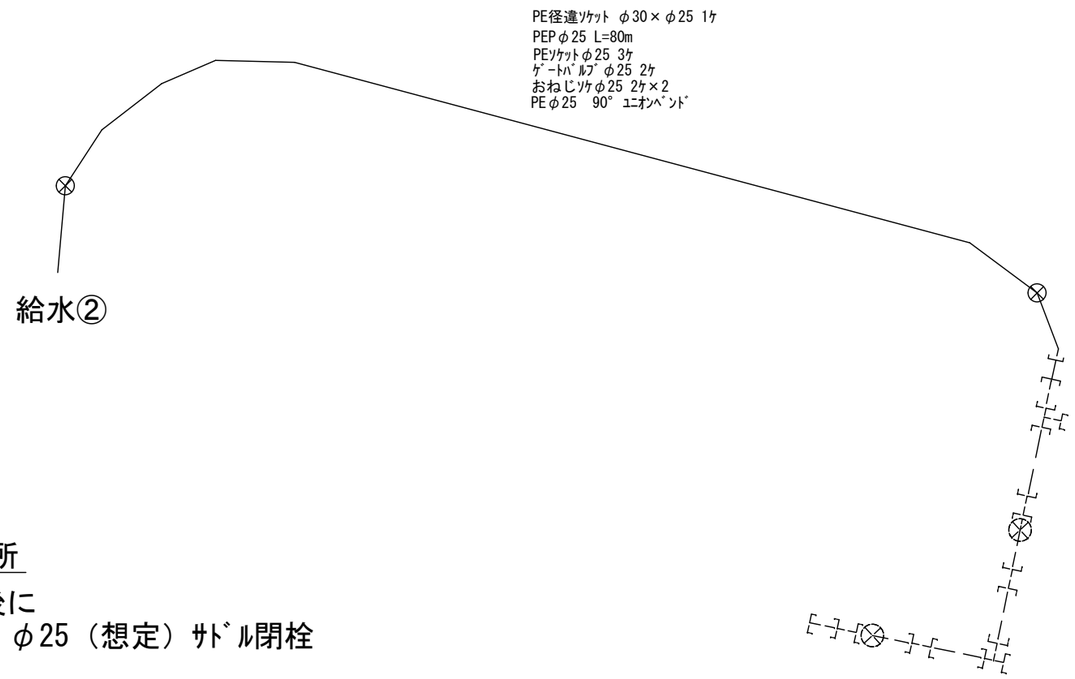
PEP φ30 L=60.0m　PEP φ25 L=18.0m



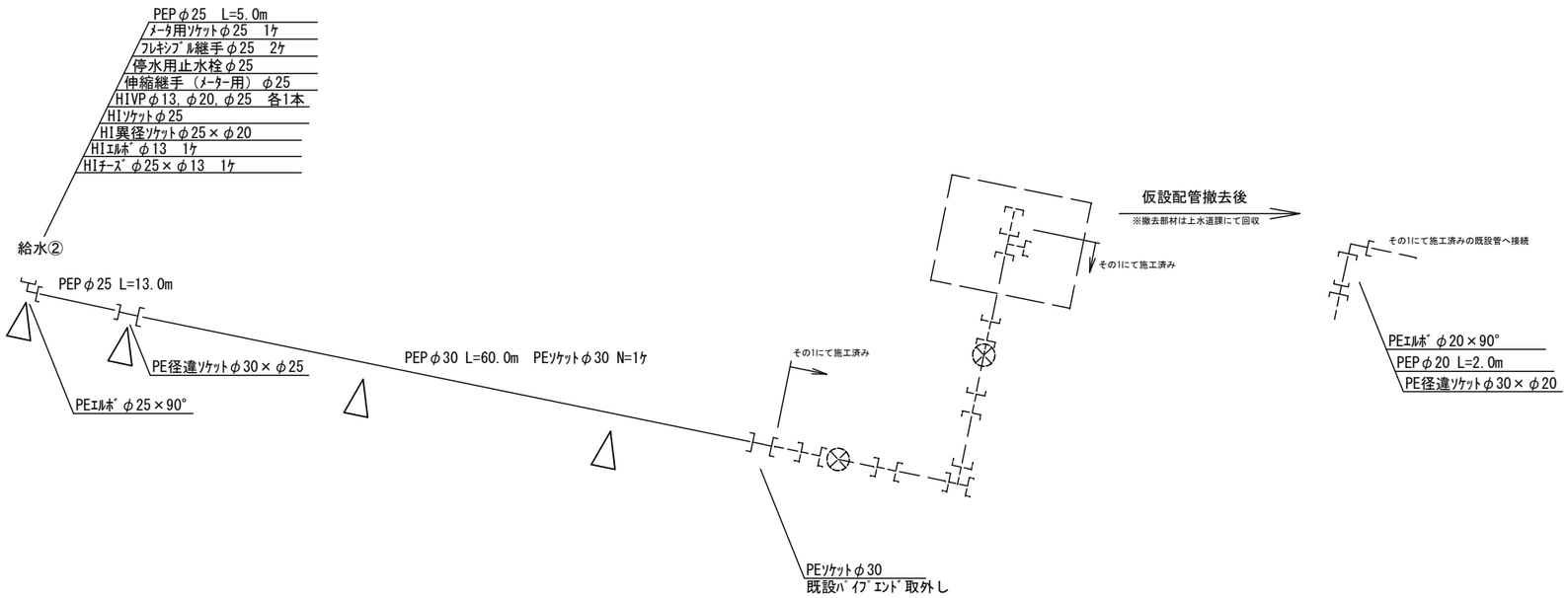
サドル閉栓　２箇所

※仮設切替完了後に
既設給水管φ20・φ25（想定）サドル閉栓

仮設配管図



配管詳細図



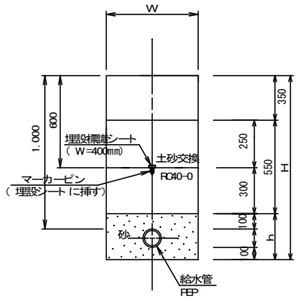
【 実施設計】

令和４年度　安曇野市水道事業							
番号	1/2	平面図・配管詳細図・仮設配管図		縮尺	図　示		
県道田多井中萱豊科線道路改良に伴う給水管布設替工事 安曇野市三郷温							
部長		課長		照査		設計	
安曇野市 上下水道部 上水道課							

令和４年度　安曇野市水道事業　県道多田井中萱豊科線道路改良に伴う給水管布設替工事

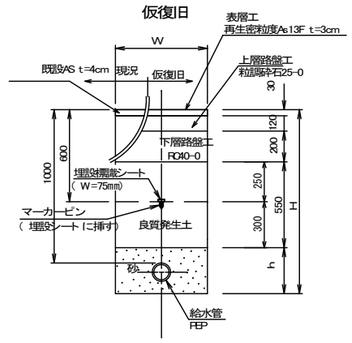
標準掘削断面図

土工断面
県道改良

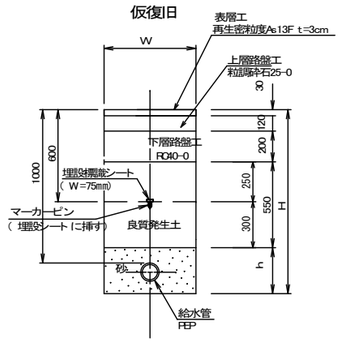


※計画GL-350mmより施工予定

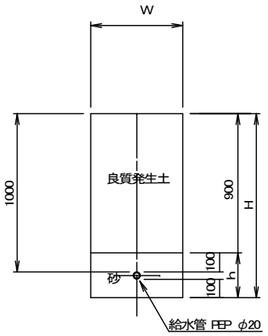
土工断面
市道車道・As



土工断面
給水・As



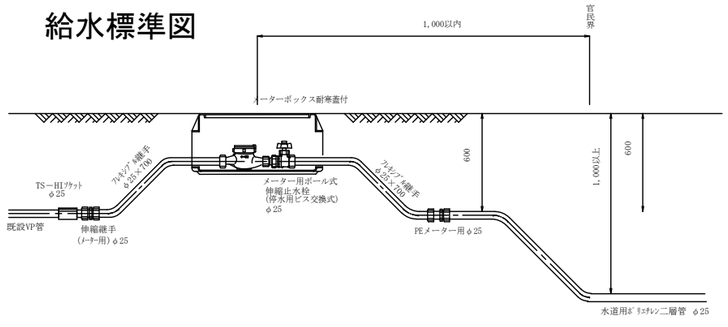
土工断面
給水・土



寸　法　表　(mm)					
管種	径	外径	W	h	H
PEP	20	27	600	230	1130
PEP	25	34	600	230	1130
PEP	30	42	600	240	1140

PEP：水道用ポリエチレン管二層管

給水標準図



【 実施設計】

令和４年度　安曇野市水道事業					
番号	2/2	土工・給水標準図	縮尺	図　示	
県道田多井中萱豊科線道路改良に伴う給水管布設替工事 安曇野市三郷温					
部長		課長		照査	設計
安曇野市　上下水道部　上水道課					